

# DX戦略 (2023～2026年度)

令和7年4月9日  
三島信用金庫  
(Ver.1.1)

# DXへの取り組み



近年、AIをはじめとするデジタル技術が大きく進歩しています。このような変化に柔軟に対応し、次なる成長を目指すためには、デジタルトランスフォーメーション(DX)は欠かせません。そこで、当金庫では、中期経営計画「地域を未来にTUNAGU」を実現するための「DX戦略」を策定しております。

私たちのビジョンは、「デジタルとFace to Faceの融合により元気な地域を創造する」ことです。地域と当金庫が持続的に共存し、地域に笑顔が広がることを願っています。最新のデジタル技術を活用し、お客さまのニーズに応じた新たな価値とサービスを提供することで、地域の皆さまのご期待に応えてまいります。

今後とも、三島信用金庫グループの総合力を発揮し、地域社会の発展に貢献する取り組みを進めてまいります。皆さまのご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

三島信用金庫  
理事長 高嶋正芳



# 1. DX戦略の方向性



## DXビジョン デジタルとFace to Faceの融合により元気な地域を創造する

### DX戦略上の重要課題

- ✓ お客さまニーズの多様化
- ✓ 事務処理の効率化
- ✓ デジタル時代への対応

### DX戦略

～ 3つの柱～

- I. お客さま利便性の追求
- II. 業務プロセスの革新
- III. 人財育成

元気な地域の創造

コンタクトイノベーション  
の実現

2021-2023 中期経営計画  
「この街と元気に」

～危機の克服、そして新たな未来へ～

2024スタート  
中期経営計画

地域を未来に  
『TUNAGU』

これまで

2024年

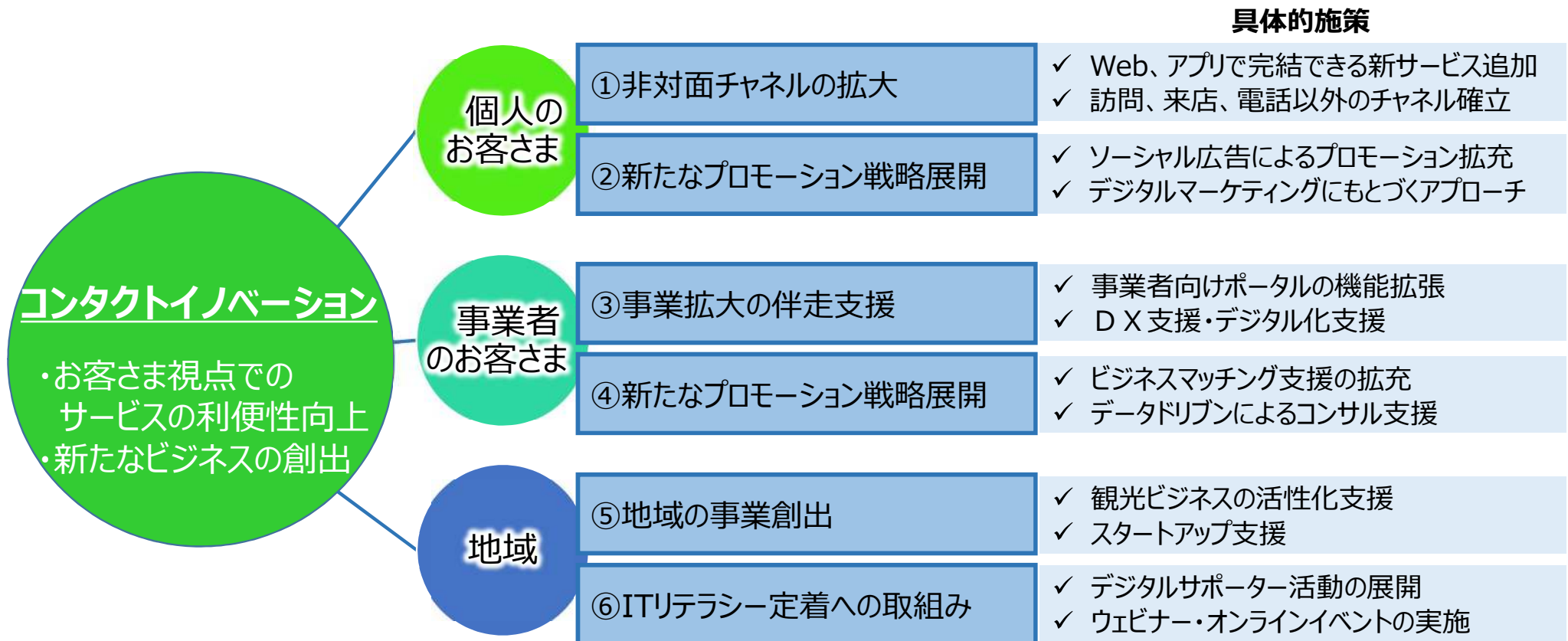
2026年

## 2. DX戦略 I : お客さま利便性の追求



コンセプト

お客さまニーズの多様化に対し新たなサービスを提供します



### 3. DX戦略Ⅱ：業務プロセスの革新

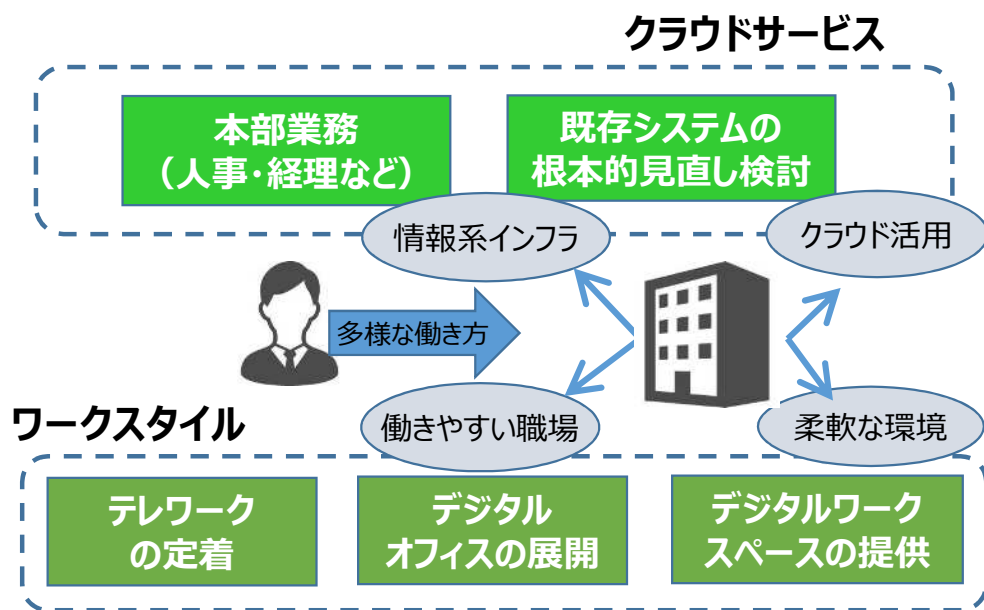


コンセプト

お客さまへの提案時間を増加させるため、業務プロセスの革新を進めます

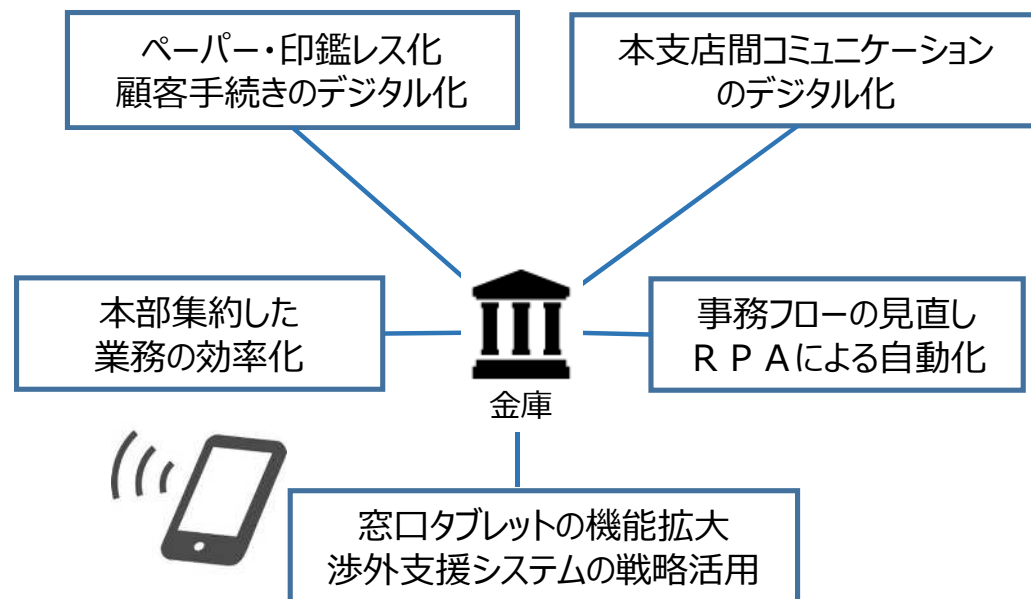
#### ワークスタイルの変革

デジタル化の促進で効率的な業務環境を整備



#### 業務プロセスの革新

デジタルを活用した業務プロセスの効率化を促進

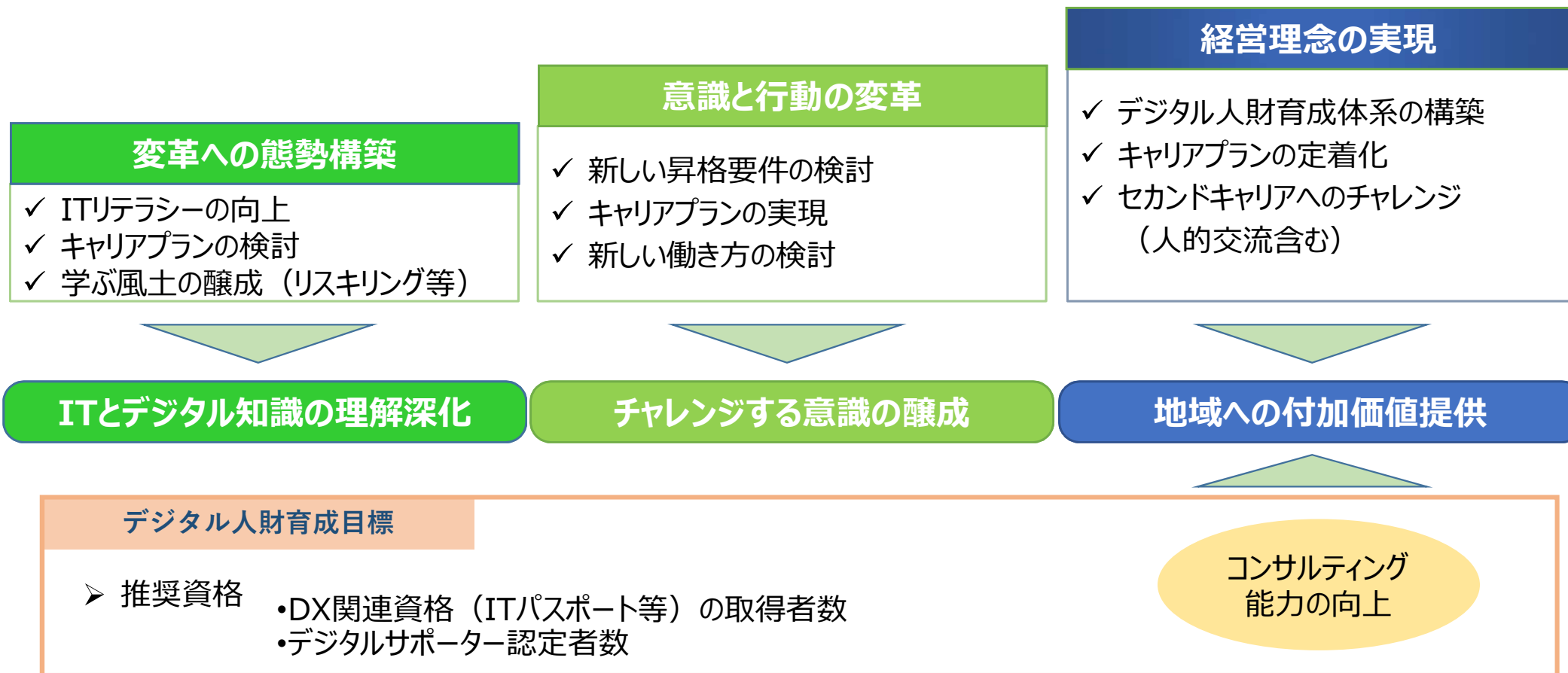


# 4. DX戦略Ⅲ：人財育成



コンセプト

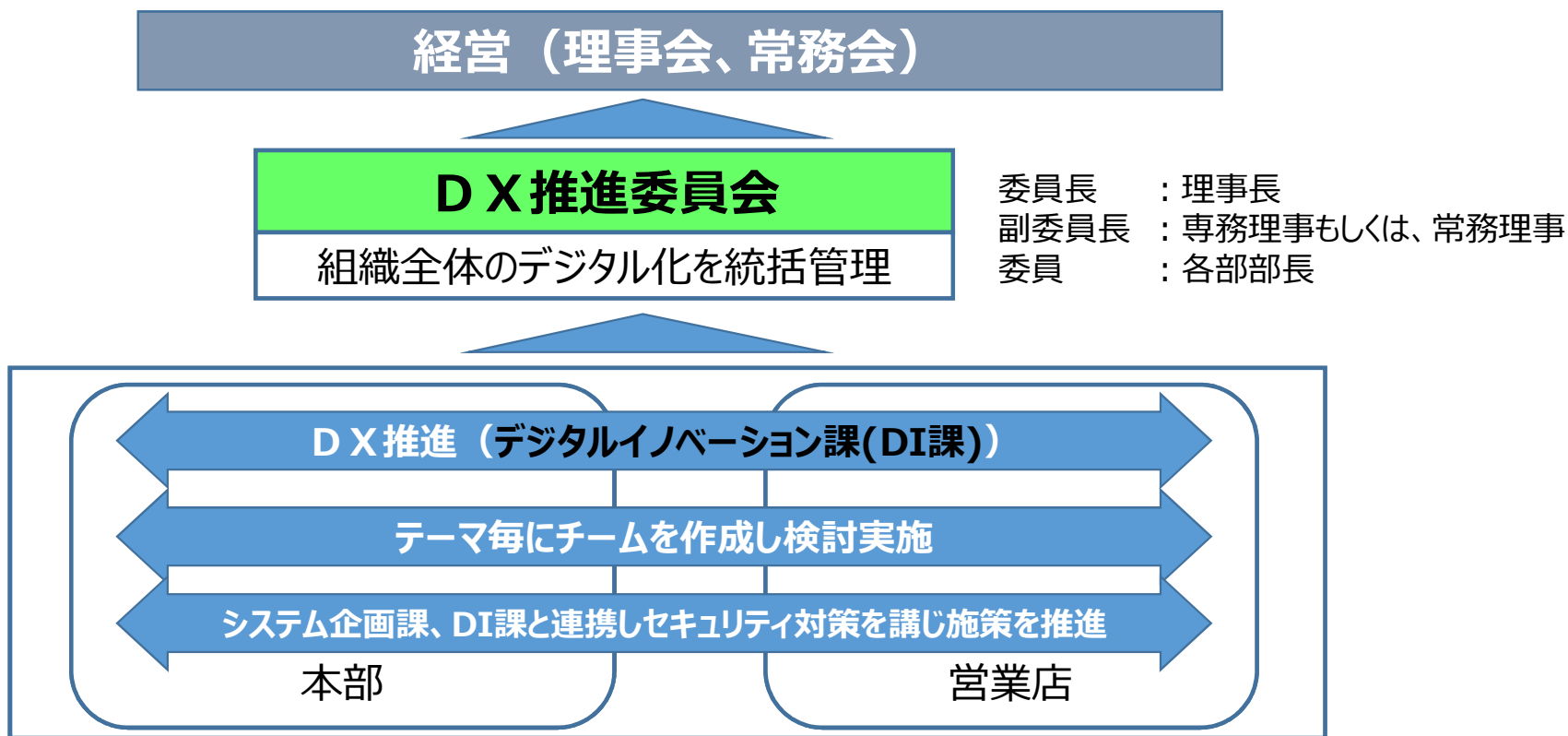
デジタル時代のお客さま支援に対応するための人財を育成します



# 5. DX推進体制



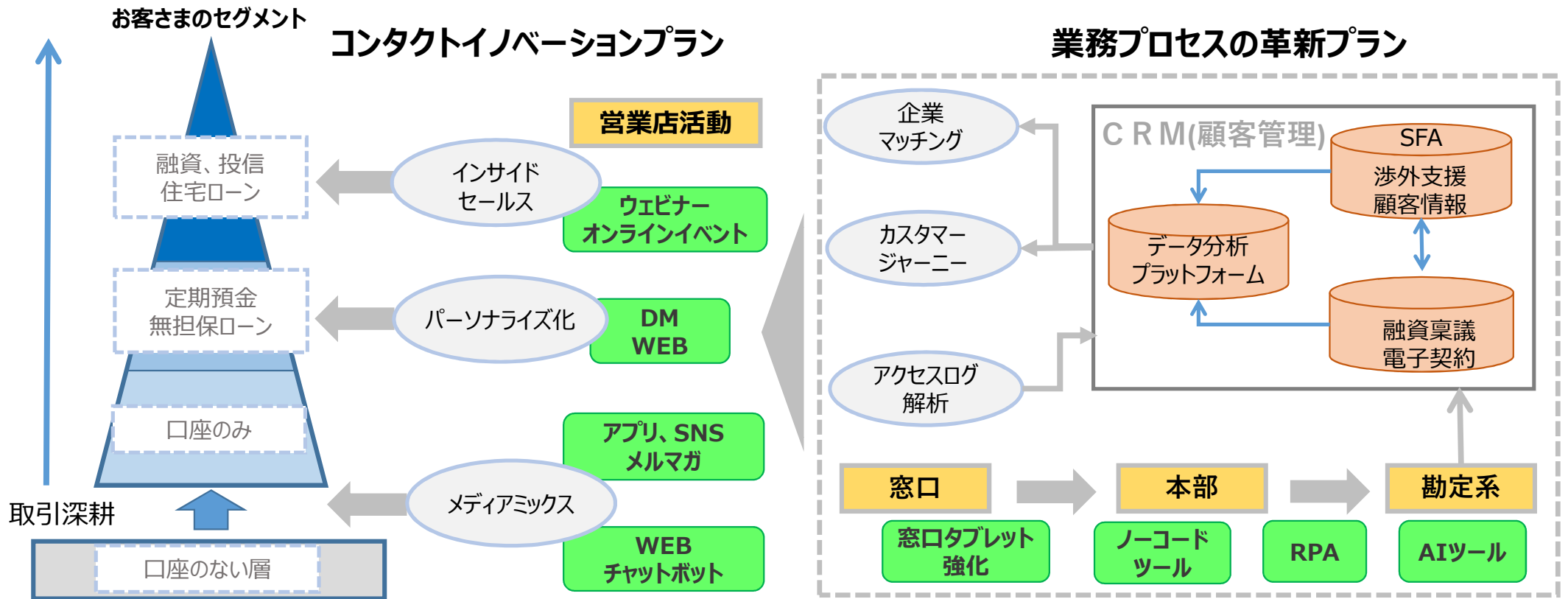
- ◆ 「デジタルイノベーション課」を2024年4月に新設。金庫全体のデジタル化の統括管理を行う
- ◆ テーマ毎に関係者を集めプロジェクト体制を構築し、DX施策のスピード化を図る



# 6. DX戦略の概念図（環境整備）



本部業務の効率化に加え、データ利活用とメディアミックスのためのデジタル環境を整備します





# 7. DX評価指標



## DX戦略の観点からKPIを設定

項目	2026年度末までの施策	指標
お客さま利便性の追求	<b>非対面チャネルの拡大</b> (1)非対面チャネルによるリテール部門の利用拡大 (2)投信インターネットサービスの推進	(1)アプリの非対面取引件数（4,000件） WEB個人ローン受付件数(累計10,000件) (2)投資先数に占める割合（75%）
	<b>事業拡大の伴走支援</b> (3)営業担当者の活動を進化させ、マッチング商材ビジネス仕組化	(3)本業支援件数（累計5,000件）
	<b>新たなプロモーション戦略展開</b> (4)市場、分析のデータ活用による事業所訪問	(4)事業所開拓件数（累計1,500件）
業務プロセスの革新	<b>業務プロセスの革新</b> (5)RPA等を活用した事務処理削減 (6)システムの活用による事務プロセスの改善 (7)AIを業務活用できる環境の構築 (8)窓口タブレットの利用範囲拡大	(5)事務処理削減件数（累計50件） (6)業務削減時間（累計20,000時間） (7)AI利用環境の構築、AIの業務活用(10件) (8)定期性預金手続き時の利用率（50%以上）
人財育成	<b>デジタル人財育成</b> (9)金融+ITスキル→社会変化の中で新たな価値を生み出すために必要なマインドスタンスの醸成	(9)DX関連資格（ITパスポート等）の取得者数（300人）



三島信用金庫